

番号：140542

国名：インドネシア

担当：人間開発部保健第三課

案件名：地球規模飛行オオコオモリを対象とした狂犬病及び関連ウイルスの網羅的解析とその防
圧研究プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年8月中旬から2014年10月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.83M/M、合計 1.33M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	25日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月30日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれ
も提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体に
よる簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>お知らせ>
「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入
について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)) をご覧ください。
なお、JICA 本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致し
かねます。ご留意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：
 - ①業務方針の的確性 3点
 - ②業務方法の整合性、現実性等 6点
 - ③当該業務実施上のバックアップ体制 1点
 - (2) 業務従事者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国/類似地域	インドネシア/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：なし

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

狂犬病及び関連ウイルス感染症は、人獣感染症の一つで、感染したイヌやコウモリなどの哺乳類が媒介となり、かまれた部位から唾液に含まれるウイルスが侵入し感染する。致死性の高いウイルス感染症として知られ、全世界で毎年3.5～5万人の死者を出し、日本国においては、感染症法で四類感染症に定められる疾患である。インドネシアにおいても、全国33州のうち22州で、毎年1300～1400件の症例が報告されており、致死的な健康被害、ひいては社会経済の負担となっている。

首都圏に位置する西ジャワ州も狂犬病の流行地の一つとして知られ、狂犬病対策に乗り出し2018年までに撲滅することを目標としている。飼い犬のワクチン接種や動物の検疫の徹底、狂犬病疑いの患者への医療費無料化など策を講じている。しかしながら、感染源となる媒介動物の網羅的な調査・研究やより効果の高いワクチン開発など、長期的防圧に必要と考えられる対策については十分行われていない。なかでも感染媒体の一つであるオオコウモリはその飛行能力から、国内はもとより、国境を越える感染拡大の一因を担っていると考えられているが、その生態は未だ知られていないことが多い。そのため、オオコウモリが感染経路で果たしている役割を究明し、今後の有効な防圧対策に結び付けていくことが重要との認識が研究者の間に深まっている。

かかる状況のもと、インドネシア政府より、上記狂犬病及び関連ウイルス感染症に関し、科学的知見に基づく動物間での流行拡散制御と効果的な対策を講じるため、感染源となるイヌ・オオコウモリから網羅的にウイルスを分離し、その情報をもとに新規リッサウイルスワクチンの開発を行うための共同研究を実施したい旨、要請があった。また、共同研究を通じ、インドネシア国の若手研究者の人材育成を行い、インドネシア国の科学水準の向上に貢献することが期待されている。

本業務は、当該プロジェクトの詳細計画策定調査を実施し、計画枠組み、実施体制、成果と活動等を整理し、事前評価を行うことを目的として行う。

7. 業務の内容

本業務従事者は、調査団の一員として、科学技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の団員と協力して、担当分野に係る以下の調査を行う。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備 (2014年8月中旬～下旬)

- ①要請背景・内容を把握する(要請書、関連報告書等の資料・情報の収集・分析)
- ②上記を踏まえ、担当分野に係る調査計画・方針(案)を検討し、カウンターパート機関や関係機関に対する質問票(英文)を作成する。
- ③担当分野に関わるPDM(案)(英文・和文)、PO(案)(英文)及び事業事前評価表(案)(和文)を検討する。
- ④調査団との打ち合わせのため、勉強会や対処方針会議等に出席する。

(2) 現地派遣 (2014年8月下旬～9月中旬)

- ①JICAインドネシア事務所等との打ち合わせに参加する。
- ②インドネシア国関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③「新JICA事業評価ガイドライン第1版」を踏まえた本調査の趣旨・実施方法について、インドネシア国側に説明を行う。
- ④事前にJICAインドネシア事務所を通じてインドネシア側関係機関に配布した質問票を回収・分析するとともに、以下の情報・資料を収集し、現状を把握する。
 - ア)インドネシア国の開発計画・政策における本プロジェクトの位置付け
 - イ)狂犬病及び関連ウイルス感染症対策並びに動物用ワクチン開発の動向
 - ウ)インドネシア国側の実施体制(組織・予算・人員)

エ) 他ドナー・機関の援助動向

- ⑤調査団及びインドネシア国側と協議の上、PDM（案）（英文・和文）、PO（案）（英文）、ミニッツ（案）（英文）の作成に協力する。
- ⑤ インドネシア国側との協議で合意された内容に基づき、R/D（案）（英文）を作成する。
- ⑥ 担当分野に係る現地調査結果を JICA ラオス事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間（2014年9月下旬）

- ①事業事前評価表（案）（英文・和文）の作成に協力する。
- ②帰国報告会、団内打ち合わせに出席し、担当分野に係る調査報告書（案）（和文）を作成し、全体のとりまとめに協力する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

調査報告書（案）（担当分野）：和文1部

なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データも併せて提出する。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年8月26日～2014年9月19日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間程先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 感染症対策1（研究機関）
- エ) 評価分析（コンサルタント）

なお、この他に独立行政法人科学技術振興機構（JST）から研究主幹及び事務局員が参加する予定。

③便宜供与内容

当機構インドネシア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎：あり
- イ) 宿舎手配：あり
- ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- エ) 通訳傭上：なし
- オ) 現地日程のアレンジ：現地ヒアリング調査のアポイントメントのとりつけ
- カ) 執務スペースの提供：なし

(2) 参考資料

本件に関する研究課題の概要が、科学技術振興機構ホームページでも公開されています。

(http://www.jst.go.jp/global/kadai/h2610_indonesia.html)

(3) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上